

# 船舶気象報符号表

平成19年(2007年)  
1月1日現在  
気象庁

表1

<b>BBXX</b>	<b>呼出符号</b>	<b>YYGGi<sub>w</sub></b> 1 2 3	<b>99LaLaLa</b> 4 5	<b>QcLoLoLoLo</b> 6 7	<b>iRixhVV</b> 8 9 10 11	<b>Nddff</b> 12 13 14	
1S <sub>n</sub> TTT 15 16	2S <sub>n</sub> T <sub>d</sub> T <sub>d</sub> T <sub>d</sub> 17 18	4PPPP 19	5appp 20 21	7wwW <sub>1</sub> W <sub>2</sub> 22 23	8N <sub>h</sub> CLCMCH 24 25 26 27	9GGgg 28	22D <sub>s</sub> V <sub>s</sub> 29 30 31
0S <sub>s</sub> T <sub>w</sub> T <sub>w</sub> T <sub>w</sub> 32 33	1P <sub>wa</sub> P <sub>wa</sub> H <sub>wa</sub> H <sub>wa</sub> 34 35	2P <sub>w</sub> P <sub>w</sub> H <sub>w</sub> H <sub>w</sub> 36 37	3d <sub>w1</sub> d <sub>w1</sub> d <sub>w2</sub> d <sub>w2</sub> 38	4P <sub>w1</sub> P <sub>w1</sub> H <sub>w1</sub> H <sub>w1</sub> 39 40	5P <sub>w2</sub> P <sub>w2</sub> H <sub>w2</sub> H <sub>w2</sub> 39 40		
6I <sub>s</sub> E <sub>s</sub> E <sub>s</sub> R <sub>s</sub> 41 42 43	8S <sub>w</sub> T <sub>b</sub> T <sub>b</sub> T <sub>b</sub> 44 45	ICE 46	c <sub>i</sub> S <sub>i</sub> b <sub>i</sub> D <sub>i</sub> Z <sub>i</sub> 47 48 49 50 51	特殊現象記事	.....		

解説

群は必ず通報する。  
はインマルサットA又はB経由の場合に付加する。  
冒頭の「BBXX」は、船舶気象報を示す識別符号です。  
気象庁では、山口海岸地球局を通じてインマルサット太平洋衛星 (POR) 経由のインマルサットA (CES ID=03)、B (ID=003)、C (ID=203) サービスで、またインマルサットインド洋衛星 (IOR) 経由のインマルサットC (ID=303) サービスで、気象電報用のコード41を指定することにより、船舶には無料で船舶気象報を受け入れています。なお、インマルサットAは2007年末でサービスを終了します。

インマルサットA又はB経由で送付する場合

- 基本的な手順は次のとおりです。  
(1) あらかじめ気象電報本文を用意します。気象電報の冒頭にはBBXX、呼出符号 (コールサイン) を含め、末尾は5つ以上のピリオド (.....) とします。  
(2) 海岸地球局を呼び出します。  
(3) GA+が送られてきたら41+を送ります。  
(4) 気象機関からのアンサーバックがきたら本文を送ります。

インマルサットC経由で送付する場合

- (1) 送信先を事前に登録しておく必要があります。送信先の設定の際には、インマルサットCの機種により陸上の回線網の指定を「SPECIAL ACCESS CODE」又は「SPECIAL ACCESS NETWORK」とし、コードに「41」を入力して下さい。また、データの文字コードは「TEXT (IA5)」、優先度は「NORMAL (ROUTINE)」、送達確認は「NO (OFF)」をそれぞれ選択して下さい。  
(2) BBXXから始まる気象電報を正しくキー入力するか、フロッピーディスクから気象電報を読み出し、(1)で事前登録した送信先を指定して送信します。

表2 符号解説

YYGGi<sub>w</sub> 群 この群は必ず報ずる

1 YY 観測日

協定世界時の日界を用い、2桁で報ずる (例: 3日は03)。

2 GG 観測時刻

協定世界時を用い、2桁で報ずる (例: 6時は06)

協定世界時 GG	15 18 21 00 03 06 09 12 ←前日→	24時は用いない (00時とする)
日本標準時	00 03 06 09 12 15 18 21	

3 i<sub>w</sub> 風速の観測手段

i<sub>w</sub> = 3 は目測による風速 (風速計の故障等で海面状態から風速を推定した場合)、i<sub>w</sub> = 4 は風速計により測定した風速を示し、風速はいずれもノット単位。

9 9LaLaLa QcLoLoLoLo 群 この群は必ず報ずる

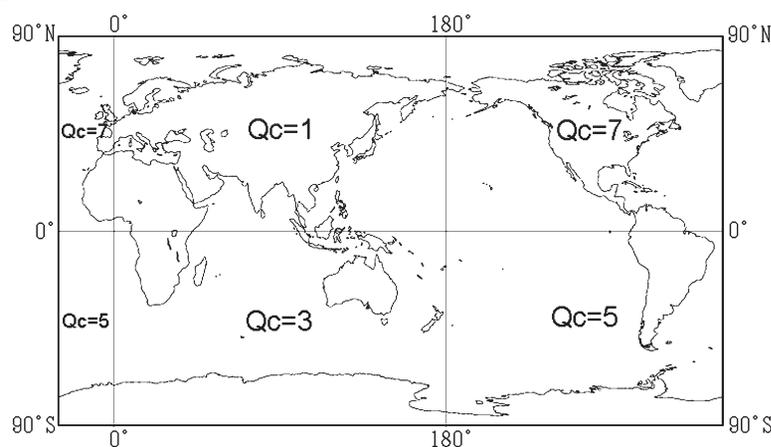
4 99 観測位置の群を示す指示数字

この指示数字に続く群は、緯度・経度で観測位置を示す。

5 LaLaLa 緯度

度の10位、1位及び1/10位。1/10位は分の値を6で除し、その端数を切り捨てた値とする。

6 Qc 地球の四半球



(注) 船舶が四半球の境界線上にある場合はどちらの四半球としてもよい。

7 LoLoLoLo 経度

度の100位、10位、1位及び1/10位。1/10位は分の値を6で除し、その端数を切り捨てた値とする。

iRixhVV 群 この群は必ず報ずる

8 i<sub>R</sub> 降水量群の有無を示す指示符

船舶気象報ではi<sub>R</sub> = 4とする。

9 i<sub>x</sub> 現在天気及び過去天気群の有無を示す指示符

i <sub>x</sub>	現在天気及び過去天気群の有無	解説
1	7 wwW <sub>1</sub> W <sub>2</sub> 群を報ずる	現在天気及び過去天気を報ずる
3	7 wwW <sub>1</sub> W <sub>2</sub> 群を省略する	現在天気及び過去天気の資料がともに入手できない

10 h 最低雲の雲底の海面からの高さ

h	海面からの高さ	h	海面からの高さ
0	< 50メートル	6	1000メートル ≤ < 1500メートル
1	50メートル ≤ < 100メートル	7	1500メートル ≤ < 2000メートル
2	100メートル ≤ < 200メートル	8	2000メートル ≤ < 2500メートル
3	200メートル ≤ < 300メートル	9	2500メートル ≤、又は雲がない
4	300メートル ≤ < 600メートル	/	不明の場合
5	600メートル ≤ < 1000メートル		

11 VV 視程 (水平視程)

VV	視程	VV	視程
90	< 50メートル	96	4キロメートル ≤ < 10キロメートル
91	50メートル ≤ < 200メートル	97	10キロメートル ≤ < 20キロメートル
92	200メートル ≤ < 500メートル	98	20キロメートル ≤ < 50キロメートル
93	500メートル ≤ < 1キロメートル	99	50キロメートル ≤
94	1キロメートル ≤ < 2キロメートル	/	不明の場合
95	2キロメートル ≤ < 4キロメートル		

(注) 視程が方向によって異なる場合は最短視程とする。

Nddff 群 この群は必ず報ずる

12 N (全雲量)

N又はN <sub>h</sub>	10分雲量	N又はN <sub>h</sub>	10分雲量
0	雲量0 (一点の雲もない)	6	雲量7~8
1	雲量1以下しかし0でない	7	雲量9以上しかし10でない
2	雲量2~3	8	雲量10 (隙間なし)
3	雲量4	9	天気現象(霧等)により不明
4	雲量5	/	天気現象以外の理由で不明
5	雲量6		

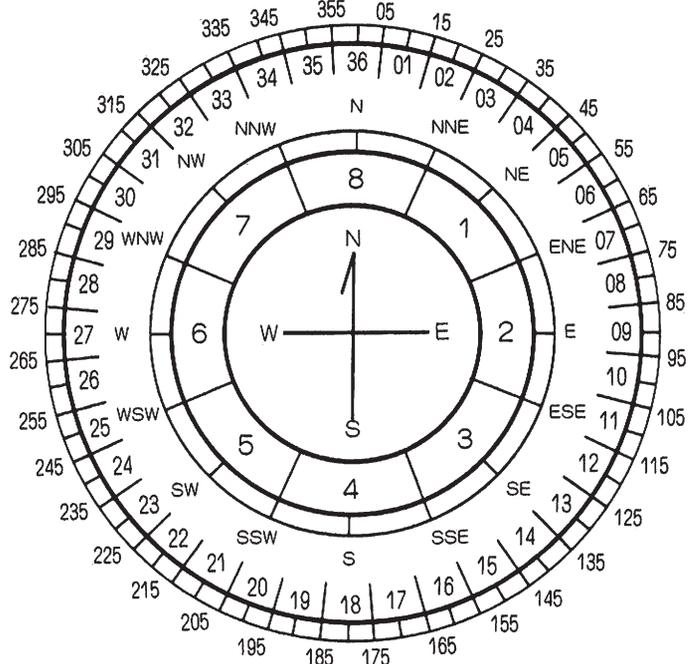
**13 dd 風向**

風向は36方位で報ずる（下の図を参照のこと）。北の場合、dd=36とし、00とはしない。また、風速が1ノット未満の場合はdd=00とし、風向の変化が大きく定めがたい場合はdd=99とする。  
風向が不明の場合、//で報ずる。

**14 ff 風速**

ノットの10位及び1位。メートル/秒で観測した場合は、ノットに換算した値を報ずる（ノット=メートル/秒×1.94）。  
風速が99ノット以上の場合のみ、ffで99を報じ、直後に「00fff群」を加え、そのfffで風速を報ずる。  
測器がない場合は、気象庁風力階級表（ビューフォート風力階級表）に基づき海面状態から風力を推定し、さらに風力を風速に換算してffで報ずる。  
風速が不明の場合、//で報ずる。

dd、Ds、dw1dw1dw2dw2の図



(注) 方位は真方位を用い、磁気方位によらない。

**1 SnTTT 群**

**15 Sn 温度（気温、露点温度）の正負を示す指示符**

Sn	温度の正負	Sn	温度の正負
0	正又は0°C (0°C ≤ )	1	負 (<0°C)

**16 TTT 気温**

°Cの10位、1位及び1/10位。気温が0°C以上の場合は、観測値の10位、1位及び1/10位をTTTで報ずる。気温が0°C未満の場合は、観測値の絶対値の10位、1位及び1/10位をTTTで報ずる(気温の正負はSnで報ずる)。  
1/10位のみが不明の場合には、1/10位を/で報ずる。

**2 SnTdTdTd 群**

**17 Sn 露点温度の正負を示す符号**

気温の正負を示す指示符に準ずる（15 Sn の解説を参照のこと）。

**18 TdTdTd 露点温度**

気温に準ずる（16 TTT の解説を参照のこと）。

**4 PPPP 群**

**19 PPPP 海面気圧**

ヘクトパスカルの100位、10位、1位及び1/10位。気圧計の読取値に海面更正を施した、平均海面上の気圧の値を報ずる。  
1/10位のみが不明の場合には、1/10位を/で報ずる。

**5 appp 群**

**20 a 気圧変化傾向**

観測時前3時間を通しての気圧変化傾向を報ずる。

a	気圧変化傾向	現在と3時間前の気圧の比較
0	上昇後下降	現在の気圧 ≥ 3時間前の気圧
1	上昇後一定又は上昇後緩上昇	// > //
2	一定上昇又は変動上昇	// > //
3	下降後上昇、一定後上昇又は上昇後急上昇	// > //
4	一定	現在の気圧 = 3時間前の気圧
5	下降後上昇	現在の気圧 ≤ 3時間前の気圧
6	下降後一定又は下降後緩下降	// < //
7	一定下降又は変動下降	// < //
8	一定後下降、上昇後下降又は下降後急下降	// < //
/	不明の場合	

**21 ppp 気圧変化量**

ヘクトパスカルの10位、1位及び1/10位。前3時間の気圧変化量を報ずる。気圧変化量が不明の場合、///で報ずる。なお、1/10位のみ不明の場合には、1/10位を/で報ずる。  
気圧変化傾向、気圧変化量がともに不明の場合、5 appp群は報じない。

**7 wwW1W2 群**

現在天気及び過去天気の資料がともに入手できない（又は観測しない）場合は報じない（9 ixの解説を参照のこと）。

**22 ww 現在天気**

観測時又は観測時前1時間内の天気を報ずる。現在天気が不明の場合、//で報ずる。  
天気現象がいくつもの数字符号にあてはまる場合には、最も大きい数字符号を報ずる（ただし、ww=17はww=20~49より優先する）。

天気現象		ww
観測時に観測点に降水なし	観測時又は観測時前1時間内に、観測点に降水、霧*、氷霧*、砂じんあらし又は地ふぶきがない	00~16 18、19
	観測時前1時間内に、観測点に降水、霧、氷霧又は雷があったが、観測時にはない	20~29
	観測時に砂じんあらし又は地ふぶきがある	30~39
	観測時に霧、氷霧又は霧氷がある	40~49
観測時に観測点に雷がある		17
観測時に観測点に降水あり	観測時に霧雨がある	50~59
	観測時に雨がある	60~69
	観測時に雪、細氷、霧雪又は凍雨がある	70~79
	観測時にしゅう雨性の降水がある	80~90
	観測時前1時間内に雷があったが、観測時にはない	91~94
観測時に雷がある	95~99	

(注) \* : ww=11及び12を除く。

ww	天気現象
00	雲の変化不明
01	雲が消散しているか又は発達にぶついている
02	空模様全般に変化がない
03	雲が発生しているか又は発達している
04	煙のために視程が10キロメートル未満になっている
05	煙霧のために視程が10キロメートル未満になっている
06	空中広くちり、黄砂が浮遊している（ちり煙霧）のために視程が10キロメートル未満になっている
07	高いしぶきがある
08	（船舶気象報では用いない）
09	視界内に砂じんあらしがある
10	もやのために視程が10キロメートル未満になっている
11	高さ10メートル以下の霧又は氷霧が散在している
12	高さ10メートル以下の霧又は氷霧が連続している
13	電光は見えるが雷鳴は聞こえない
14	視界内に降水があるが、海面に達していない
15	視界内5キロメートル以上に降水があり、海面に達している
16	視界内5キロメートル未満に降水があり、海面に達しているが、観測点にはない
17	雷はあるが、観測時に降水はない
18	視界内に突風がある
19	視界内にたつまきがある
20	霧雨又は霧雪があった
21	雨があった
22	雪があった
23	みぞれ又は凍雨があった
24	着氷性の雨又は霧雨があった
25	しゅう雨性の雨があった
26	しゅう雨性の雪又はみぞれがあった
27	ひょう、氷あられもしくは雪あられ又は雨を伴うひょう、氷あられもしくは雪あられがあった
28	霧又は氷霧があった
29	雷があった

ww	天 気 現 象	
30	視程500メートル以上の砂じんあらしがある	(観測時前1時間内にうすくなった) (観測時前1時間内に変化がなかった) (観測時前1時間内に発生したか、又は濃くなった)
31		
32		
33	視程500メートル未満の砂じんあらしがある	(観測時前1時間内にうすくなった) (観測時前1時間内に変化がなかった) (観測時前1時間内に発生したか、又は濃くなった)
34		
35		
36	目の高さより低い地ふぶきがある (視程500メートル以上)	
37	目の高さより低い地ふぶきがある (視程500メートル未満)	
38	目の高さより高い地ふぶきがある (視程500メートル以上)	
39	目の高さより高い地ふぶきがある (視程500メートル未満)	
40	観測時に離れた所に霧又は氷霧がある (観測時前1時間内に観測点にはなかった)	
41	霧又は氷霧が散在している	
42	空が透視できる霧又は氷霧がある	(観測時前1時間内にうすくなった)
43	空が透視できない霧又は氷霧がある	
44	空が透視できる霧又は氷霧がある	(観測時前1時間内に変化がなかった)
45	空が透視できない霧又は氷霧がある	
46	空が透視できる霧又は氷霧がある	(観測時前1時間内に発生したか、又は濃くなった)
47	空が透視できない霧又は氷霧がある	
48	空が透視できる霧があり、霧氷が発生している	
49	空が透視できない霧があり、霧氷が発生している	
50	弱い霧雨がある (観測前1時間内に止み間があった)	
51	弱い霧雨がある (観測前1時間内に止み間がなかった)	
52	並みの霧雨がある (観測前1時間内に止み間があった)	
53	並みの霧雨がある (観測前1時間内に止み間がなかった)	
54	強い霧雨がある (観測前1時間内に止み間があった)	
55	強い霧雨がある (観測前1時間内に止み間がなかった)	
56	弱い着氷性の霧雨がある	
57	並み又は強い着氷性の霧雨がある	
58	弱い霧雨と雨がある	
59	並み又は強い霧雨と雨がある	
60	弱い雨がある (観測前1時間内に止み間があった)	
61	弱い雨がある (観測前1時間内に止み間がなかった)	
62	並みの雨がある (観測前1時間内に止み間があった)	
63	並みの雨がある (観測前1時間内に止み間がなかった)	
64	強い雨がある (観測前1時間内に止み間があった)	
65	強い雨がある (観測前1時間内に止み間がなかった)	
66	弱い着氷性の雨がある	
67	並み又は強い着氷性の雨がある	
68	弱いみぞれまたは霧雨及び雪がある	
69	並み又は強いみぞれもしくは霧雨及び雪がある	
70	弱い雪がある (観測前1時間内に止み間があった)	
71	弱い雪がある (観測前1時間内に止み間がなかった)	
72	並みの雪がある (観測前1時間内に止み間があった)	
73	並みの雪がある (観測前1時間内に止み間がなかった)	
74	強い雪がある (観測前1時間内に止み間があった)	
75	強い雪がある (観測前1時間内に止み間がなかった)	
76	細氷がある	
77	霧雪がある	
78	単独の結晶からなる雪がある	
79	凍雨がある	
80	弱いしゅう雨性の雨がある	
81	並み又は強いしゅう雨性の雨がある	
82	激しいしゅう雨性の雨がある	
83	弱いしゅう雨性のみぞれがある	
84	並み又は強いしゅう雨性のみぞれがある	
85	弱いしゅう雨性の雪がある	
86	並み又は強いしゅう雨性の雪がある	
87	弱い雪あられ又は氷あられがある	
88	並み又は強い雪あられ又は氷あられがある	
89	弱いひょうがある	
90	並み又は強いひょうがある	
91	弱い雨がある	(観測時前1時間内に雷があったが、観測時にはない)
92	並み又は強い雨がある	
93	弱い雪、みぞれ、雪あられ、氷あられ又はひょうがある	(観測時前1時間内に雷があったが観測時にはない)
94	並み又は強い雪、みぞれ、雪あられ、氷あられもしくはひょうがある	
95	弱い又は並みの雷があり、雨、雪又はみぞれを伴っている	
96	弱い又は並みの雷があり、ひょう、氷あられ又は雪あられを伴っている	
97	強い雷があり、雨、雪又はみぞれを伴っている	
98	雷があり、砂じんあらしを伴っている	
99	強い雷があり、ひょう、氷あられ又は雪あられを伴っている	

**28 W<sub>1</sub>W<sub>2</sub> 過去天気**

対象時間内でのwwで報ずる天気が始まる以前の天気現象を、W<sub>1</sub>W<sub>2</sub>で報ずる。

過去天気がいくつもの数字符号に該当する場合は、最も大きい数字符号をW<sub>1</sub>で、次に大きい数字符号をW<sub>2</sub>で報ずる。過去天気の一つしかない場合は、W<sub>1</sub>、W<sub>2</sub>とも同じ数字符号を報ずる。過去天気不明の場合、//で報ずる。

観測時刻 (協定世界時)	W <sub>1</sub> W <sub>2</sub> の対象時間
00、06、12、18UTC	観測時前6時間以内
03、09、15、21UTC	// 3 //
上記以外の時刻	// 1 //

W <sub>1</sub> W <sub>2</sub>	過 去 天 気	W <sub>1</sub> W <sub>2</sub>	過 去 天 気
0	全期間を通じて10分雲量で5以下	4	視程1キロメートル未満の霧もしくは氷霧又は視程2キロメートル未満の濃い煙霧
1	全期間のある時は雲量6以上、ある時は5以下	5	霧雨
2	全期間を通じて雲量6以上	6	雨
3	視程1キロメートル未満の砂じんあらし又は高い地ふぶき	7	雪又はみぞれ
		8	しゅう雨性の降水
		9	雷

**8N<sub>h</sub>CLC<sub>M</sub>CH 群**

この群は、必ず報ずる。

(注) N=0の場合、8N<sub>h</sub>CLC<sub>M</sub>CH=80000と報ずる。

N=9の場合、8N<sub>h</sub>CLC<sub>M</sub>CH=89///と報ずる。

N=/の場合、8N<sub>h</sub>CLC<sub>M</sub>CH=8////と報ずる。

**24 N<sub>h</sub> C<sub>L</sub>又はC<sub>L</sub>がない場合はC<sub>M</sub>に属する雲の雲量**

全雲量Nの通報に準ずる (22 Nの解説を参照のこと)。

**25-27 C<sub>L</sub>C<sub>M</sub>CH 雲の状態**

表の数字符号は優先順に並べてある。

C <sub>L</sub>	層積雲、層雲、積雲、積乱雲の状態
/	C <sub>L</sub> の雲が観測できない
0	層積雲、層雲、積雲又は積乱雲のいずれも存在しない
9	雲頂が明らかに巻雲状をなし、多くはかなとこ状を呈している積乱雲がある
3	積雲が積乱雲に変わって間もない
4	積雲から広がってできた層積雲がある
8	積雲及び積雲から広がってできたものでない層積雲が共存している
2	非常に発達している積雲がある
1*	あまり大きく発達していない積雲がある
5*	積雲から広がってできたものでない層積雲がある
6*	層雲または片層雲 (層雲からちぎれた雲片) が存在しているか、もしくはそれらが共存している
7*	高層雲又は積乱雲が空をおおい、その下にちぎれ雲がある

(注) \*をつけた数字符号の優先順位は、雲量の多い数字の順とする。

C <sub>M</sub>	高積雲、高層雲、乱層雲の状態
/	C <sub>M</sub> の雲が観測できない
0	高積雲、高層雲又は乱層雲のいずれも存在しない
9	種々の高さに雲片が散在する高積雲がある
8	塔状を呈してつらな高積雲又は房状の高積雲がある
7*	二重の層をなした高積雲及び高層雲を伴った高積雲又は部分的に高積雲の特徴を示す高層雲がある
6	積雲が広がってできた高積雲がある
5	帯状又は薄い層状をなし、次第に天空に広がり、全般的に厚さも増していく高積雲がある
4	レンズ型をした高積雲が散在している
3	薄い高積雲が単層をなして存在している
2	厚い高層雲又は乱層雲がある
1	薄い高層雲がある

(注) C<sub>M</sub>=7は、状態により優先順位が異なり、\*は高積雲と乱層雲、又は高積雲と高層雲が共存している場合で、2層以上の高積雲の場合はC<sub>M</sub>=4の次、単層の高積雲の場合はC<sub>M</sub>=3と同順位となり、優先順位は雲量の多いほうが優先する。

C <sub>H</sub>	巻雲、巻積雲、巻層雲の状態
/	C <sub>H</sub> の雲が観測できない
0	巻雲、巻積雲又は巻層雲のいずれも存在しない
9	巻積雲 (少量の巻雲又は巻層雲を伴ってもよい)
7	巻層雲が全天をおおっている
8	巻層雲が全天をおおっていない
6	巻雲及び巻層雲又は巻層雲のみが次第に空に広がってきて、水平線上45度を超えている
5	巻雲及び巻層雲又は巻層雲のみが次第に空に広がってきているが、まだ水平線上45度に達していない
4	厚さを増しながら増加しているかぎ状又は房状の巻雲がある
3	積乱雲から生じたもので、かなとこ状を呈している巻雲がある
2*	積乱雲から生じたものでない濃い巻雲がある
1*	繊維状の巻雲が分散していて増加しない

(注) \*をつけた数字符号の優先順位は、雲量の多い方が優先する。

## 9GGgg 群

### 28 GGgg 実際の観測時刻

実際の観測時刻が、YYGGiw群で示す観測時刻と10分以上離れている場合に、協定世界時を用い、GGに実際の観測時刻の時を2桁で、ggに観測時刻の分を2桁で報ずる。なお、実際の観測時刻とは気圧計の読み取り時刻とする。(例: YYGGiw群で示す観測時刻が00時で、実際の観測時刻が00時15分の場合は、90015となる。)

## 222DsVs 群 この群は必ず報ずる

### 29 222 船の進路・速度、海面水温等の報告が続くことを示す指示数字

#### 30 Ds 船の進路

観測時前3時間の位置から、現在の位置へ移動した結果として生じた方位(真方位)を8方位で報ずる(2ページの図を参照のこと)。

Ds	船の進路	Ds	船の進路
0	位置は変わらない	5	南西(SW)に進んできた
1	北東(NE)に進んできた	6	西(W)に進んできた
2	東(E)に進んできた	7	北西(NW)に進んできた
3	南東(SE)に進んできた	8	北(N)に進んできた
4	南(S)に進んできた	9	不明の場合

#### 31 Vs 船の平均速度

観測時前3時間を通じての船の平均速度(直線距離を3で割る)を報ずる。

Vs	船の平均速度	Vs	船の平均速度
0	<1ノット	6	26ノット≦ <31ノット
1	1ノット≦ <6ノット	7	31ノット≦ <36ノット
2	6ノット≦ <11ノット	8	36ノット≦ <40ノット
3	11ノット≦ <16ノット	9	40ノット≦
4	16ノット≦ <21ノット	/	不明の場合
5	21ノット≦ <26ノット		

## 0sTsTwtTw 群

### 32 sTs 海面水温の正負及び観測方法

sTs	海面水温の正負	観測方法
0	正又は0°C	機関の冷却水の温度を観測した
1	負	
2	正又は0°C	採水用バケツにより採取した海面水温の温度を観測した
3	負	
4	正又は0°C	海面に接触する船体の外板の温度を観測した
5	負	
6	正又は0°C	その他の方法により海面水温を測定した
7	負	

### 33 TwTwtTw 海面水温

気温に準ずる(16 TTTの解説を参照のこと)。ただし、符号は32 sTsで報ずる。

## 1PwaPwaHwaHwa 群

### 34 PwaPwa 測器の観測による波浪の周期

秒の10位及び1位。

### 35 HwaHwa 測器の観測による波浪の波高

0.5メートル単位(右欄上の波高の表を参照のこと)。

波浪計を用いた観測を行わない場合、1PwaPwaHwaHwa群は報じない。

## 2PwPwHwHw 群

### 36 PwPw 目視観測による風浪の周期

秒の10位及び1位。周期を決定できない場合、//で報じ、混沌とした海面のため周期が決定できない場合には、99で報ずる。

### 37 HwHw 目視観測による風浪の波高

0.5メートル単位(右側の波高の表を参照のこと)。風浪がない場合、2PwPwHwHwは20000で報ずる。風浪の周期、波高がともに不明及び観測を行わない場合には、2PwPwHwHw群は報じない。混沌とした海面のため、風浪の周期及び波高が不明の場合は「299//」と報ずる。

## 3dw1dw1dw2dw2 4Pw1Pw1Hw1Hw1 5Pw2Pw2Hw2Hw2 群

### 38 dw1dw1dw2dw2 うねりの来る方向

うねりの来る方向は36方位で報ずる(2ページの図を参照のこと)。方向が定めがたい場合は99で報ずる。うねりが1方向のみから来ている場合は、dw2dw2は//で報ずる。2方向から来ている場合は、うねりの大きい方をdw1dw1で、小さい方をdw2dw2で報ずる。3方向以上から来ている場合は、大きい方から順に二つのうねりを報ずる。

### 39 Pw1Pw1、Pw2Pw2 うねりの周期

秒の10位及び1位。うねりが2方向から来ている場合、大きい方をPw1Pw1で、小さい方をPw2Pw2で報ずる。周期が決定できない場合には、//で報ずる。

### 40 Hw1Hw1、Hw2Hw2 うねりの波高

0.5メートル単位(下の波高の表を参照のこと)。うねりが2方向から来ている場合、大きい方をHw1Hw1で、小さい方をHw2Hw2で報ずる。うねりがないか、又は不明の場合には3dw1dw1dw2dw2群、4Pw1Pw1Hw1Hw1群、5Pw2Pw2Hw2Hw2群は報じない。

	波高(HwaHwa)、風浪(HwHw) うねり(Hw1Hw1、Hw2Hw2)の波高		波高(HwaHwa)、風浪(HwHw) うねり(Hw1Hw1、Hw2Hw2)の波高
00	0.25メートル未満	09	4.5メートル
01	0.5メートル	10	5メートル
02	1メートル	∴	
03	1.5メートル	20	10メートル
04	2メートル	∴	
05	2.5メートル	30	15メートル
06	3メートル	∴	
07	3.5メートル	//	波高を観測しない、又は波高を決定できない
08	4メートル		

## 6IsEsEsRs 群

この群は、船舶に着氷がある場合に報ずる。41~43のコードを使用しないで平文で報ずる場合、識別語「ICING」を前置する。

### 41 Is 船舶の着氷の種類

Is	船舶の着氷の種類	Is	船舶の着氷の種類
1	海水のしぶきによる	4	雨による
2	霧による	5	海水のしぶき及び雨による
3	海水のしぶき及び霧による		

### 42 EsEs 船舶の着氷の厚さ

現在の着氷の厚さを、センチメートルの10位及び1位で報ずる。

### 43 Rs 船舶の着氷速度(3時間前との比較)

Rs	船舶の着氷速度	Rs	船舶の着氷速度
0	進行していない	3	ゆるやかに融解、または崩壊
1	ゆるやかに着氷	4	急速に融解、又は崩壊
2	急速に着氷		

## 8SwTbTbTb 群

この群は湿球温度を用いて露点温度を計算する場合のみ報ずる。

### 44 Sw 湿球温度の正負及び湿球の氷結の有無

Sw	湿球温度の正負(氷結の有無)	Sw	湿球温度の正負(氷結の有無)
0	正又は0°C	2	負(氷結している)
1	負(氷結していない)		

### 45 湿球温度

気温に準ずる(16 TTT解説を参照のこと)。ただし、符号は44 Swで報ずる。

## ICE ciSiIbDiIzi 群

この群は、観測時に船の位置から海氷又は陸氷が観測された場合に報ずる。詳細は「船舶気象観測表による報告および船舶気象報通報の手引」を参照のこと。

### 46 ICE 海氷の群を表わす識別語

### 47 ci 海氷の密接度又は配列

### 48 Si 海氷の発達過程

### 49 bi 陸氷の数

### 50 Di 主要な氷の縁の方位

### 51 zi 氷の観測時の状態と前3時間の状態変化

## 特殊現象記事

次の場合において、必要と認めたとときにその詳細を平文で報ずる。内容には、位置、時刻に続けて括弧内の要素を含める。

- 前線の通過を観測した場合(変化の前後の風向、最大風速)
- 観測時前6時間内に最大風速が34ノットを超えた場合(風向、風速)
- 風、気圧、視程等に注目すべき変化があった場合
- 霜、雨氷、みぞれ、ひょう、雷等があった場合
- その他、顕著な現象があった場合